

WSを行うにあたって

令和6年11月
第6回審議会資料

本日のWSのゴール



グループで
各エリアの学校の再編を
考え、模造紙に記載する。

※4エリアとも時間内に検討
し、その内容を模造紙に記載してください。

WSを行うにあたって

本日のWSを行うにあたっての留意点

エリアごとの学校配置の検討



(第5回審議会の内容より) 小: 6～7校 中: 3～4校

1エリア
あたりの
学校数

中1校

小1～3校

程度

または、

小中一貫校

(義務教育学校)

1校のみ

※南東エリアの(仮称)門真市立水桜学園はこのパターンです。

学校の再編にあたっての基本的な考え方

1



これからの教育を実現するための検討

①「令和の日本型学校教育」

子どもたちの多様化

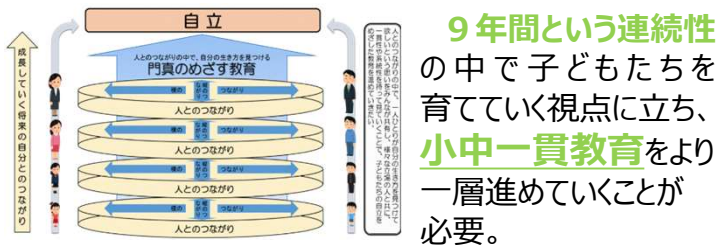


「個別最適な学び」 その子に合った学習ができる学校
「協働的な学び」 多様な他者と協働できる学校
の整備が必要。

②「門真のめざす教育」

門真のめざす子ども像
「将来の自立をめざして自分の生き方を見つける子ども」

「縦のつながり」 (異年齢・大人など)
「横のつながり」 (子ども同士・地域)
「将来の自分とのつながり」 (縦・横のつながりの中で成長していく将来の自分とのつながり)



2



児童生徒数を考慮した検討

児童生徒数が今後も減少する見込みの中、子どもたちが多様な人間関係の中で学び、人とのつながりを創るためには、一定数の児童生徒がともに学び、「横のつながり」の中で育つ環境が必要となる。既に単学級になっている、また、将来的に単学級となることが見込まれる場合などについては、速やかな検討が必要。



3



老朽化した校舎への対応

高度成長期の人口急増に合わせて、同時期に建設された門真の学校は、そのほとんどが建設後、50年以上が経過している現状があり、建替えや改修を検討する時期にもなっている。快適で楽しく過ごせる場所としてのこれからの学校づくりを考えるにあたっては、学校施設の築年数や過去の大規模改修の状況等を考慮した検討が必要。



4



今後のまちづくりを考慮した検討

今後大きく門真のまちづくりが進む予定であり、エリアによっては、未就学児や児童生徒の増加、または、現在の推計よりも減少しない可能性がある。これらの可能性も踏まえた上での検討が必要。



5



学校の変遷を踏まえた検討

門真の小学校は、旧村の4つの小学校（門真小学校、大和田小学校、四宮小学校、二島小学校）から分離設置されてきた歴史や、これまでの再編の経緯なども考慮しながらの検討が必要。

6



門真市全体の学校の将来像を踏まえた検討

②児童生徒数、③校舎の老朽化で対象となる校区や学校だけでなく、④まちづくり、⑤学校の変遷も踏まえ、門真市全体の学校の将来像を見据えた再編統合の検討が必要。その上で、学校だけでなく、必要に応じて、校区の再編についてもあわせて検討が必要。

基本的な考え方 ②児童生徒数 ③老朽化について

2

児童生徒数

既に半数以上の学年が単学級の学校

大和田小学校（現二中校区）

五月田小学校（現七中校区）

北巢本小学校（R 8に四宮小学校と統合予定）

R 12までに半数以上の学年が単学級となる可能性のある学校

上野口小学校（現二中校区）

沖小学校（現二中校区）

古川橋小学校（現門真はすはな中校区）

上記以外の学校でかつ、

小：1学年3クラス 中：1学年4クラス が

R 12時点で維持困難だと予想される学校

門真小学校（現三中校区）

二島小学校（現七中校区）

東小学校（現五中校区）

四宮小学校（R 8に北巢本小学校と統合予定）

すべての中学校※（仮称）水桜学園後期課程含む

3

校舎の老朽化

※大規模改修実施校除く

築60年以上の学校

第二中学校（現二中校区）

築50年以上の学校

大和田小学校（現二中校区）

上野口小学校（現二中校区）

第三中学校（現三中校区）

門真小学校（現三中校区）

二島小学校（現七中校区）

古川橋小学校（現門真はすはな中校区）

四宮小学校（R 8に北巢本小学校と統合予定）

北巢本小学校（R 8に四宮小学校と統合予定）

基本的な考え方 ④まちづくりについて

4

R 8 2年後
生涯複合施設 開館
R 8 2年後
シティタワー古川橋 竣工
(41 F 建 全648戸)

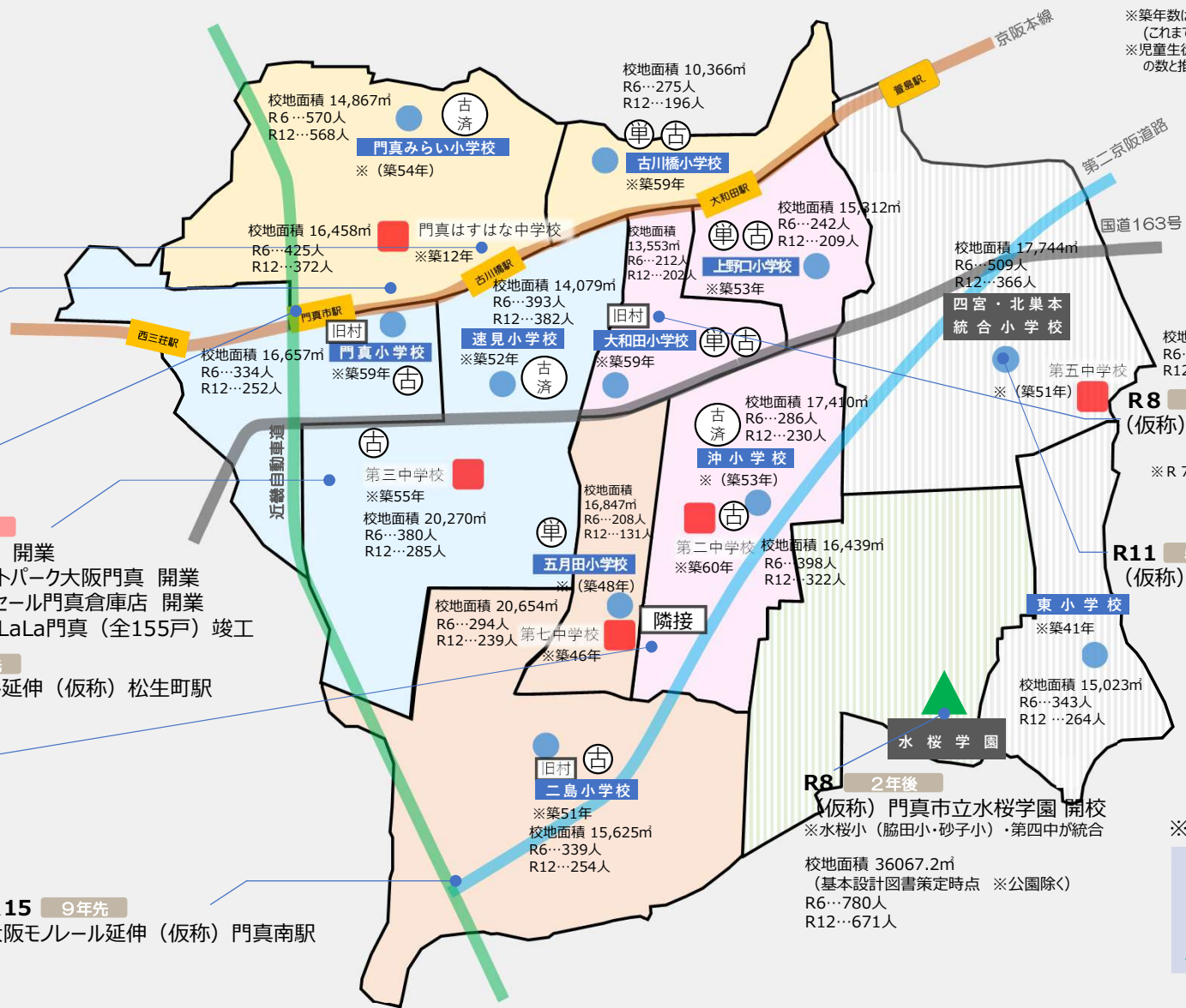
R 13 7年後
門真市役所 新庁舎開庁

R 5 1年前
ららぽーと門真 開業
三井アウトレットパーク大阪門真 開業
コストコホールセール門真倉庫店 開業
パークホームズLaLa門真 (全155戸) 竣工
R 15 9年先
大阪モノレール延伸 (仮称) 松生町駅

R 14 8年後
門真市駅周辺を再開発
※ R 14まちびらき予定

南東地域まちづくり基本構想
※スポーツ関連施設・交流広場・防災公園・
物流, ものづくり施設の建設・誘致等を想定

R 15 9年先
大阪モノレール延伸 (仮称) 門真南駅



※築年数は令和6年5月1日時点
(これまでの資料より1年追加しています)
※児童生徒数と学級数は令和6年5月1日時点
の数と推計です

R 8 2年後
(仮称) 幼保連携型認定こども園
大和田こども園 運用開始
※ R 7に大和田幼稚園と上野口保育が統合

R 11 5年後
(仮称) 四宮・北巢本統合小学校
新校舎移転
※四宮小・北巢本小が統合

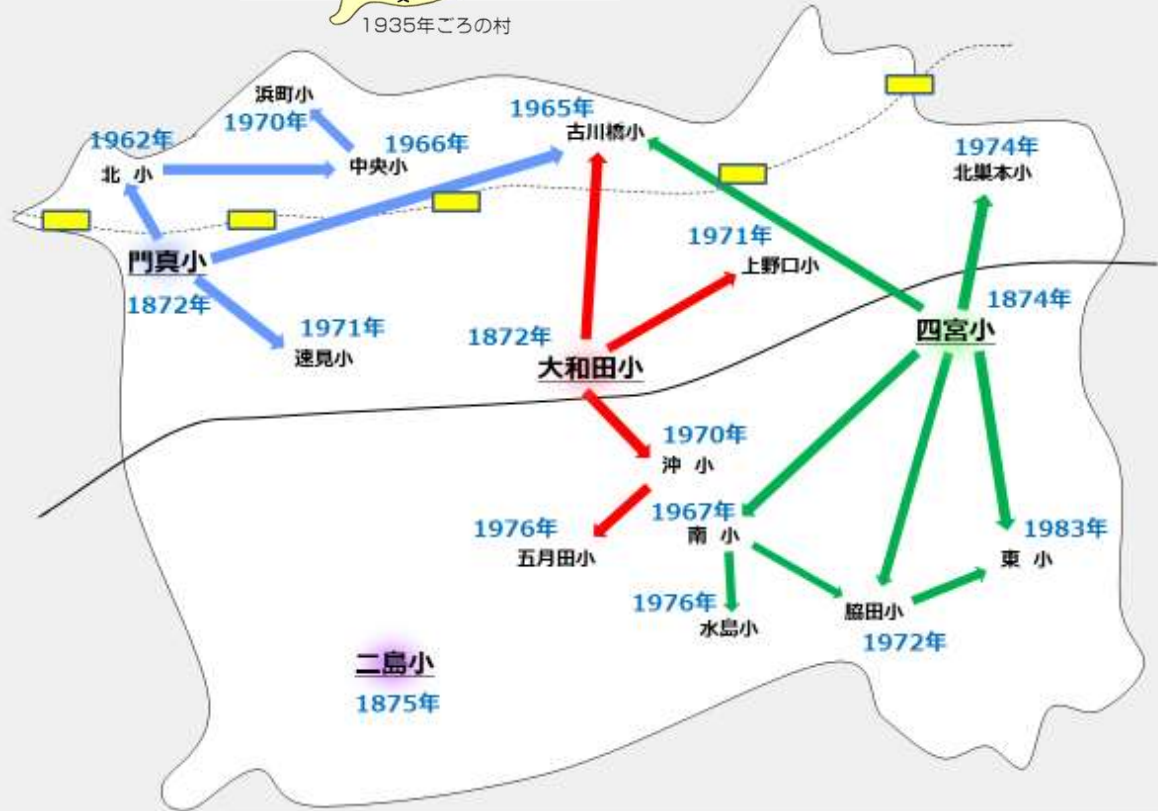
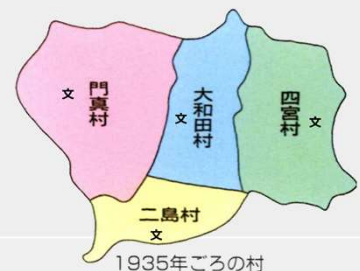
R 8 2年後
(仮称) 門真市立水桜学園 開校
※水桜小 (脇田小・砂子小)・第四中が統合
校地面積 36067.2㎡
(基本設計図書策定時点 ※公園除く)
R6…780人
R12…671人

※令和11年

● 小学校	11
■ 中学校	5
▲ 義務教育学校	1

基本的な考え方 ⑥これまでの学校の変遷について

5

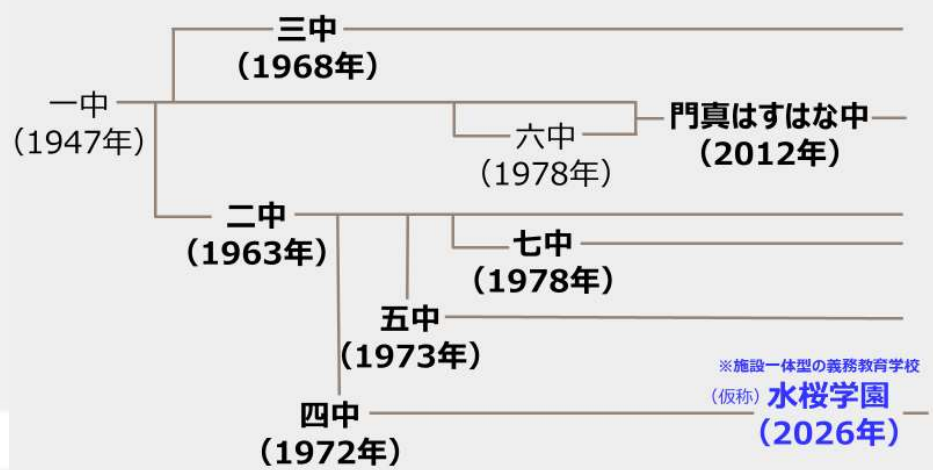


門真市立学校（小学校）が増えていった様子（学校分離）

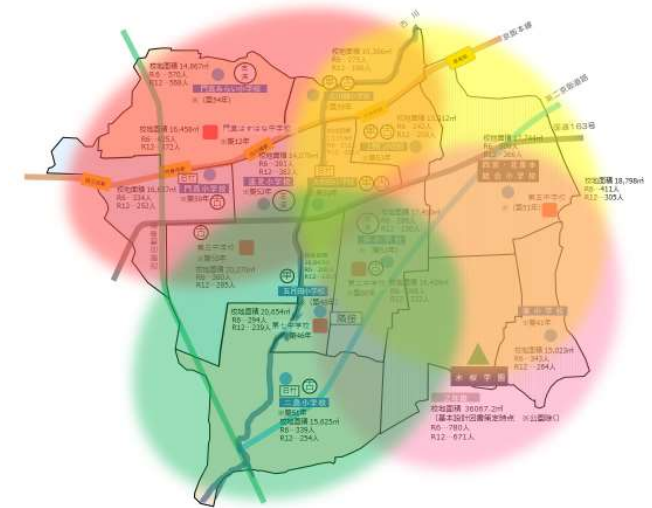


門真市立学校（小学校）が減っていった様子（学校統合）

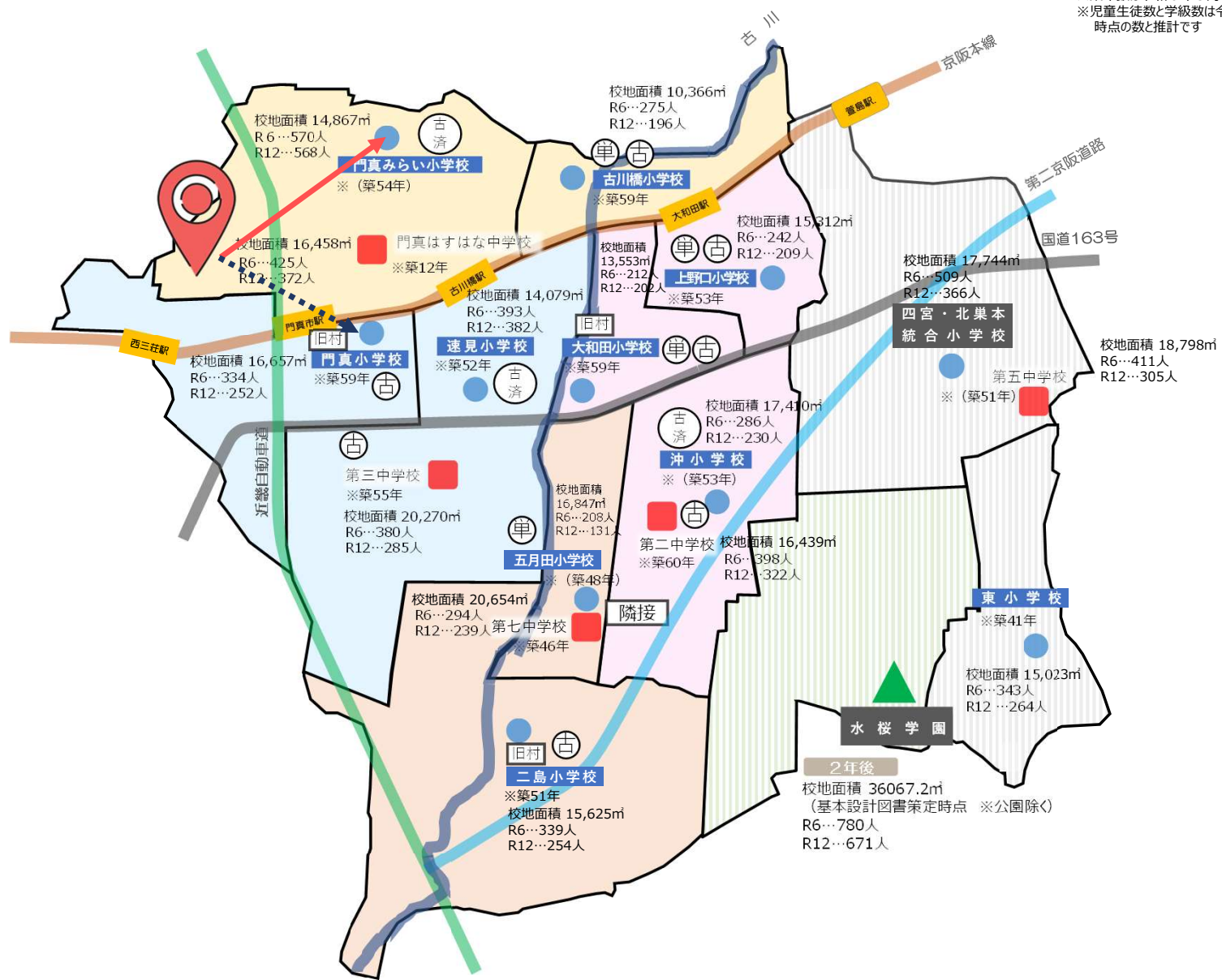
中学校の分離・統合



校区について



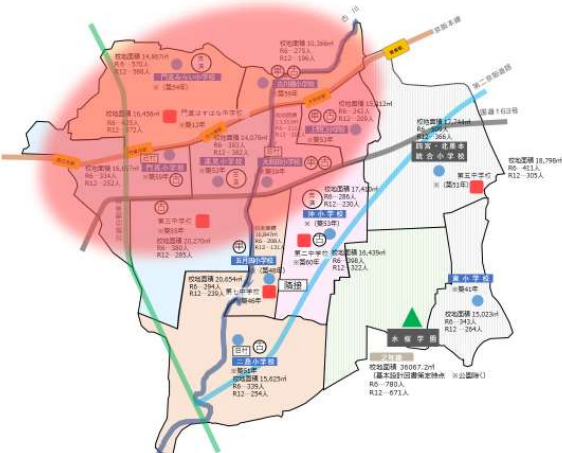
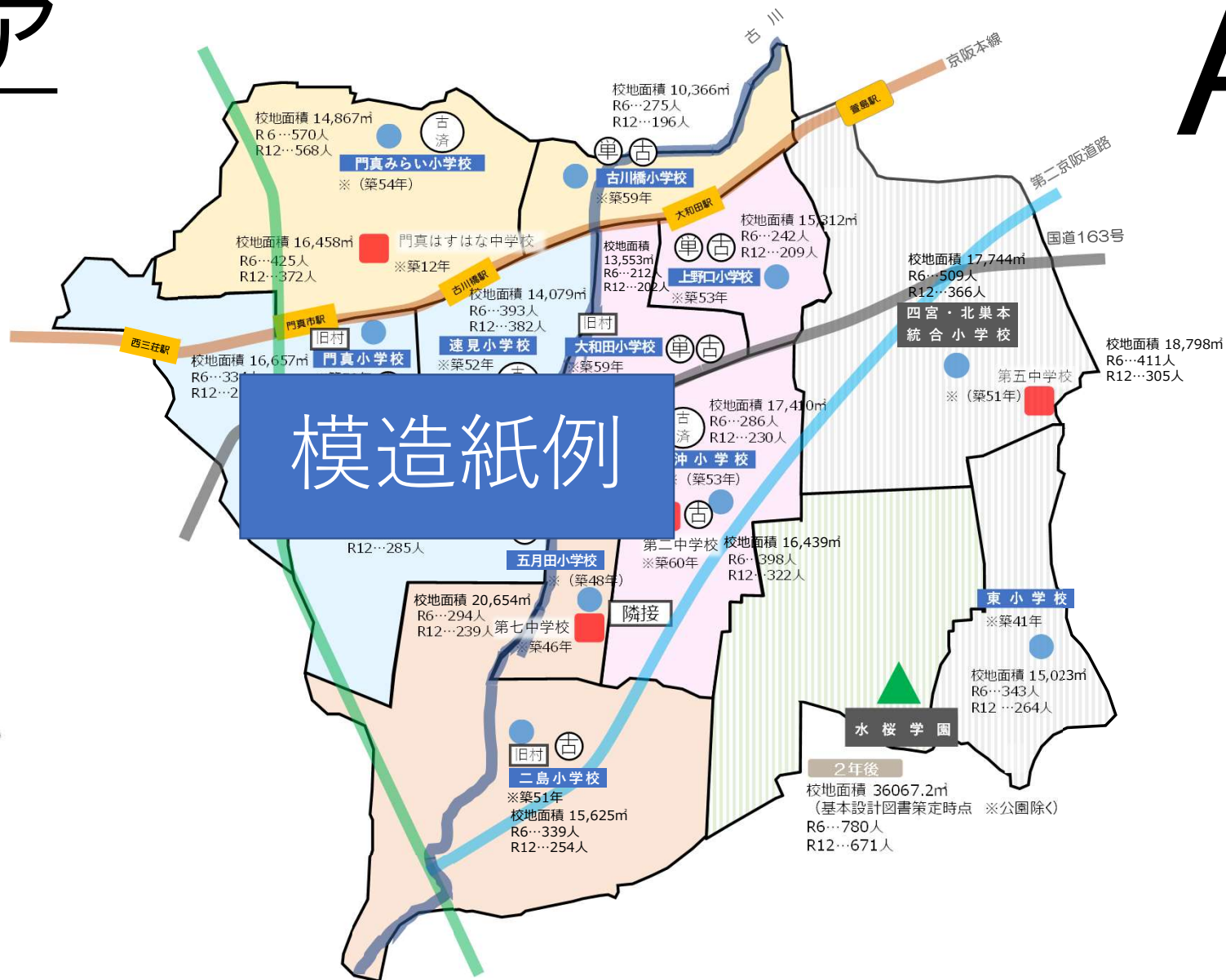
※築年数は令和6年5月1日時点
 ※児童生徒数と学級数は令和6年5月1日
 時点の数と推計です



模造紙について

北西エリア

A



【今日のWSのゴール】

すべてのエリア(4エリア)の再編を検討し、模造紙に記載

【留意点】

どこからどこまでがそのエリアなのか
マーカーでエリアを囲んでください。



1エリア
あたりの
学校数

中1校 **小1~3校** 程度
または、
小中一貫校 (義務教育学校) **1校のみ**

※南東エリアの(仮称)門真市立水桜学園はこのパターンです。